



CONTENTS

- ・岩手県土地改良事業団体連合会第67回通常
総会を開催 ……2
- ・水土里ネットいわて新役員2名が就任 ……3
- ・令和6年度土地改良功労者表彰 ……3
- ・7年度予算の十分な配分などを要請 ……4
- ・佐々木和氏が岩手県農林水産業表彰の
栄誉に輝く ……5
- ・陸前高田土地改良区合併認可指令書
交付式を開催 ……6
- ・令和6年度水土里ネット役員研修会開催 ……7
- ・令和6年度絵画・写真コンクール入賞作品が決定 ……8
- ・令和7年度水土里ネットいわて新任・新採用職員 ……9
- ・令和6年度水土里ネットいわて資格取得者 ……9
- ・令和7年度水土里ネットいわて職員配置図 ……10
- ・土地改良区だより第11回
水土里ネット江刺猿ヶ石 ……11
- ・編集後記

岩手県土地改良事業団体連合会第67回通常総会を開催

— 令和7年度事業計画、一般会計予算など12議案を承認 —

本会は、3月18日、本会3階会議室において、第67回通常総会を開催した。

開会にあたり高橋隆会長が、「令和7年度から新たな食料・農業・農村基本計画がスタートするが、計画を着実に進めるためには、営農を下支えする土地改良の推進が不可欠であり、水田の大区画化や排水改良、農業水利施設の維持更新、施設の保全を担う土地改良区の運営基盤強化などを着実に進めていく必要がある。本県は、農地の約8割を中山間地域が占めており水田の整備率が53%と東北で最も低い状況だが、年間約300haの整備が着実に進められており、低コスト化や農地集積はもとより、高収益作物栽培や、スマート農業の導入が進むなど、基盤整備の効果が着実に現れている。今後も、本県農業農村の着実な発展に向けて、県選出国會議員、財務省、農林水産省、県御当局への要請活動を展開するとともに、国の「土地改良長期計画」と、県の「いわて農業農村整備の展開方向」の実現に向け、役職員一丸となって努力していく。」と挨拶した。



【挨拶を述べる高橋会長】

来賓祝辞では、荻野憲一東北農政局農村振興部長が、「農林水産省では昨年改正された食料・農業・農村基本法に基づく食料農業農村基本計画の策定を進めている。東北

農政局として、地域の皆様の声をよく聞きながら、競争力強化のための農地の大区画化や国土強靱化のための農業水利施設の計画的な更新・長寿命化、ため池の防災・減災対策および土地改良区の機能強化等を推進していく。」と菅家秀人東北農政局長の祝辞を代読した。



【菅家東北農政局長の祝辞を代読する
荻野農村振興部長】

総会では、令和5年度事業報告並びに決算、令和6年度補正予算、令和7年度事業計画並びに予算のほか、令和9年度第49回全国土地改良大会の本県開催など12議案が審議され、全議案が原案どおり議決された。

役員の補欠選任議案については、理事に本館國博岩手中部土地改良区理事長が、監事に千田博藤沢土地改良区理事長が満場一致で選任された。

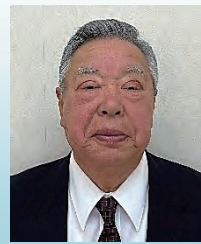


【第67回通常総会の様子】

水土里ネットいわて新役員



【本館 國博 理事】



【千田 博 監事】

—令和6年度土地改良功労者表彰—

●役員部の部

氏 名	所 属	役 職 名
高 橋 清 志	松 川 土 地 改 良 区	前 理 事 長
大 森 泰 英	岩 手 山 麓 土 地 改 良 区	会 計 担 当 理 事
佐々木 章一	都 南 土 地 改 良 区	理 事 長
高 橋 一 水	豊 沢 川 土 地 改 良 区	前 理 事
鈴 木 信 一	永 沢 土 地 改 良 区	前 理 事 長
及 川 斌 人	江 刺 猿 ヶ 石 土 地 改 良 区	前 副 理 事 長
及 川 力 男	江 刺 猿 ヶ 石 土 地 改 良 区	前 理 事
千 葉 秀 男	藤 沢 土 地 改 良 区	総 括 監 事
星 良 雄	藤 沢 土 地 改 良 区	第 二 理 事

●職員部の部

氏 名	所 属	役 職 名
柳 村 武 史	岩 手 山 麓 土 地 改 良 区	管 理 課 長
藤 倉 秀 樹	岩 手 山 麓 土 地 改 良 区	管 理 係 長
千 葉 徳	岩 手 中 部 土 地 改 良 区	施 設 管 理 人
小 田 島 幸 夫	岩 手 中 部 土 地 改 良 区	水 管 理 人
鈴 木 悦 朗	夏 川 沿 岸 土 地 改 良 区	前 事 務 局 長
熊 谷 英 則	岩 手 県 土 地 改 良 事 業 団 体 連 合 会	農 村 振 興 部 農 村 環 境 課 主 査



【高橋会長（前列中央）と土地改良功労者表彰受賞者】

7年度予算の十分な配分などを要請

本会は、1月21日～22日、岩手県の今泉元伸 農村整備担当技監とともに、農林水産省及び東北農政局に対し、「令和7年度当初予算の本県への適正な配分」、「農地の大区画化や汎用化等、中山間地域を含むほ場整備や、国土強靱化に向けた農業水利施設の適切な更新・長寿命化、豪雨・地震対策等の推進」、「水土里ビジョンの策定に向けての土地改良区への十分な支援策」など、「農業農村整備の着実な推進に関する要請」を行った。



左から、県 黒田課長、今泉技監、庄子政務官、高橋会長、久保田副会長、千田副会長



【農村振興局 前島局長への要請】



【農村振興局 青山次長への要請】

農林水産省では、庄子賢一 農林水産大臣政務官、前島明成 農村振興局長及び青山健治 農村振興局次長に面会し、東北農政局では、荻野憲一 農村振興部長に面会し要請を行った。

また、自民党本部において鈴木俊一 総務会長に面会し要請を行った。



【東北農政局 荻野部長への要請】

要請項目

- 1 農業農村整備事業関係の令和7年度当初予算の配分に当たり、本県の実情を十分勘案の上、引き続き特段の配慮がなされること。
- 2 農地の大区画化や汎用化等、中山間地域を含むほ場整備や、国土強靱化に向けた農業水利施設の適切な更新・長寿命化、豪雨・地震対策等を引き続き推進すること。
- 3 水土里ビジョンの制度化にあたっては、関係者との意見調整を重ね、土地改良区が迅速かつ適切に策定できるよう十分な支援策を講じること。

佐々木 和氏が岩手県農林水産業表彰の栄誉に輝く

—令和6年度いわて農林水産躍進大会—

12月20日、トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）において、『令和6年度いわて農林水産躍進大会』が開催された。大会では、「岩手県農林水産業表彰」、「いわて農林水産振興協議会会長表彰」、「いわて中山間賞」、「岩手県農地・水環境保全向上活動モデル賞」及び「岩手県アドプト活動モデル賞」の授与が行われた。

岩手県農林水産業表彰

長年にわたり農林水産業に関する団体の運営や協同組織の育成又は農林水産業の技術向上発展に尽力され顕著な功績があった方を表彰するもので、佐々木 和富沢土地改良区理事長ほか7名が受賞した。



〔佐々木 和 富沢土地改良区理事長〕

岩手県農地・水環境保全向上活動モデル賞

「農地・水環境保全向上活動」とは、地域共同の力で農地や農業用水等の地域資源と農村環境を保全管理する取組で、本県では平成19年度から活動が展開されており、県内の模範となる優れた取組を行っている3団体が受賞した。

受賞団体
下矢作地区環境保全会（陸前高田市）
紫波町水分上地区環境保全活動組織（紫波町）
宿戸地区環境保全組合（洋野町）



〔前列左から
紫波町水分上地区環境保全活動組織
下矢作地区環境保全会
宿戸地区環境保全組合〕

岩手県アドプト活動モデル賞

「アドプト活動」とは、農業水利施設の適切な管理に向け、施設管理者と地域・企業などが協定を締結し、協働で施設等の保全活動を行う取組で、本県では平成15年度から活動が展開されており、県内の模範となる優れた取組を行っている5団体が受賞した。

受賞団体	
実施団体	協定団体
上野原地区公衆衛生組合（奥州市）	胆沢平野土地改良区
矢沢ため池水利維持管理組合 矢沢地域の自然保護を考える会（花巻市）	猿ヶ石北部土地改良区



前列左から
千田公喜 胆沢平野土地改良区理事長
上野原地区公衆衛生組合
小原雅道 猿ヶ石北部土地改良区理事長
矢沢ため池水利維持管理組合
矢沢地域の自然保護を考える会



※アドプト活動モデル賞の賞状は、実施団体と協定団体が賞状の上部で握手している形が特徴です。

陸前高田土地改良区合併認可指令書交付式を開催

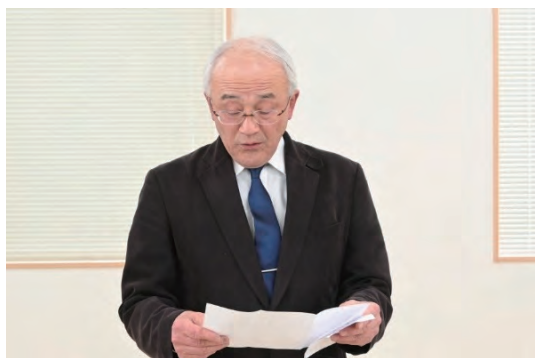
2月28日、気仙・陸前高田土地改良区統合整備推進協議会は、陸前高田土地改良区事務所において、陸前高田土地改良区合併認可指令書交付式を開催し、陸前高田土地改良区 白川周一 理事長、気仙土地改良区 菅野剛 理事長ほか10名が出席した。



【合併認可指令書交付の様子】

左から：長谷川所長、白川理事長

式では、白川理事長が「令和5年1月に統合整備研究会を設置して以降、統合整備に関する計画を具体的に検討・策定してきた。そして本日合併し、陸前高田土地改良区が誕生した。これまで、御指導いただいた岩手県、陸前高田市、岩手県土地改良事業団体連合会に対し厚く御礼申し上げる。今後は組織運営や財政基盤強化を図り、農業の発展に全力を尽くす所存である。皆様方のより一層の御協力をお願いする。」と謝辞を述べた。



【謝辞を述べる白川理事長】

また、同協議会の会長を務める長谷川和弘 大船渡農林振興センター所長が、「陸前高田市唯一の土地改良区として、これからも地域の農業の生命線である水利施設等の維持管理に努めていただき、生産者の方々が安心して営農できるよう、引き続き御尽力をお願いします。」と挨拶した。



【挨拶する長谷川所長】

指令書が交付され、気仙土地改良区と陸前高田土地改良区は合併し、新しい陸前高田土地改良区となりました。この合併により土地改良区の運営基盤の強化が図られ、地域農業の持続的な発展に寄与することが期待される。



【記念撮影】

左から：長谷川所長、白川理事長、菅野理事長

令和6年度水土里ネット役員研修会開催 －土地改良区の管理運営基盤の強化に向けて－

2月4日から5日にかけて、県内土地改良区役職員等約250名の出席のもと、花巻温泉ホテル千秋閣において『令和6年度水土里ネット役員研修会』を開催した。

開会にあたり、主催者を代表して本会高橋隆会長が、「本研修会は、土地改良区の組織運営の改善及び適正な財政計画の樹立と土地改良区の管理運営基盤の強化に資することを目的に開催している。本研修での学びが各土地改良区の諸課題解決に役立つことを期待する。本会としても、今後とも県内の土地改良事業の推進に努めていく。」と挨拶した。



【研修の様子】

次に、来賓挨拶として、岩手県農林水産部の今泉元伸 農村整備担当技監心得が「県では、いわて県民計画（2019～2028）第2期アクションプランに基づき、生産コストの低減や汎用化に向けた

ほ場整備の推進、農業用水の安定供給に向けた水路の長寿命化、土地改良区の運営基盤強化への支援とともに、DXなど革新的な技術の開発・導入等による収益力の高い食料供給基地づくりなどに取り組んでいる。令和7年度予算が本県に十分に配分されるとともに、土地改良法の改正にあたっては地域の声が十分に反映されるよう国に対し要請していくほか、引き続き計画的かつ効率的な事業執行に取り組んでいく。」と農林水産部長挨拶を代読した。

研修は下記次第のとおり行われた。本研修により、国及び県が推進する農業政策や男女共同参画への理解が深まるとともに、災害や水難事故への備えに対する意識が高まり、今後の土地改良区の運営の一助になることを期待する。



【講演する萩原扶未子代表取締役社長】

令和6年度水土里ネット役員研修会

次 第

【4日(火)】

- ・「いわて農業農村整備の取組状況」
講 師 岩手県農林水産部農村整備担当技監兼農村計画課総括課長 今泉 元伸 氏
- ・「農業の4つの伸びしろをどう活かすか？」
講 師 株式会社日本総合研究所調査部首席研究員 藻谷 浩介 氏
- ・「食料・農業・農村：変化とその将来を考える」
講 師 公立大学法人宮城大学副学長・食産業学群教授 三石 誠司 氏
- ・「農業農村整備事業を取り巻く情勢について」
講 師 都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問・参議院議員 宮崎 雅夫 氏

【5日(水)】

- ・「賦課金未納者への対応について～未納者への滞納解消に向けた進め方～」
講 師 全国土地改良事業団体連合会支援部長 市村 和寿 氏
- ・「男性中心の組織における女性活躍の促進方法」
講 師 株式会社ジーアンドエス代表取締役社長 萩原 扶未子 氏
- ・「食料・農業・農村基本計画と土地改良の展開方向について」
講 師 都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問・参議院議員 進藤 金日子 氏

令和6年度絵画・写真コンクール入賞作品が決定

令和6年12月13日に本会主催の令和6年度『小中学生による「美しく豊かな村づくり」絵画コンクール』及び『「農村景観」写真コンクール』の選考会を開催し、絵画205点、写真68点の応募作品の中から入賞作品44点を決定しました。

各部門の入賞作品は、本会ホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。また、過去の応募作品は本会ホームページから無料でダウンロードできますので、名刺やポスターなど農業・農村のPRのため広くご活用ください。



【本会 HP QR コード】

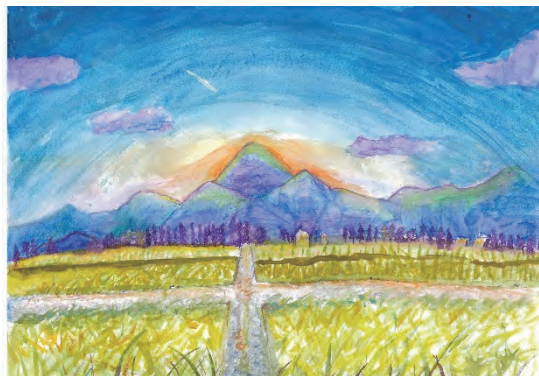
【 絵画コンクール 金賞受賞作品 】

● 小学校低学年の部



「のうぎょうにひつようなハチ」

● 小学校中学年の部



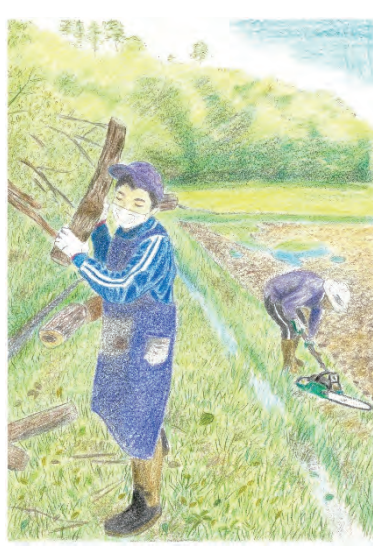
「南昌山とアトラス彗星」

● 小学校高学年の部



「さんさのきんちょう」

● 中学校の部



「父ちゃんと山と田を守る春」

【 写真コンクール 最優秀賞受賞作品 】

● 風景部門



「天地共演」

● 人物部門



「 お兄ちゃん頑張る 」

令和7年度水土里ネットいわて新任・新採用職員



菊池 克祐
(きくち かつよし)
総務管理部
事業調整監



米田 智優
(まいた ともひろ)
総務管理部
総務課 主任



佐々木 つぐ美
(ささき つぐみ)
総務管理部
総務課 主事



高見 知加
(たかみ ちか)
総務管理部
管理指導課 主事



紺野 光咲
(こんの みさき)
総務管理部
水土里情報推進課 主事

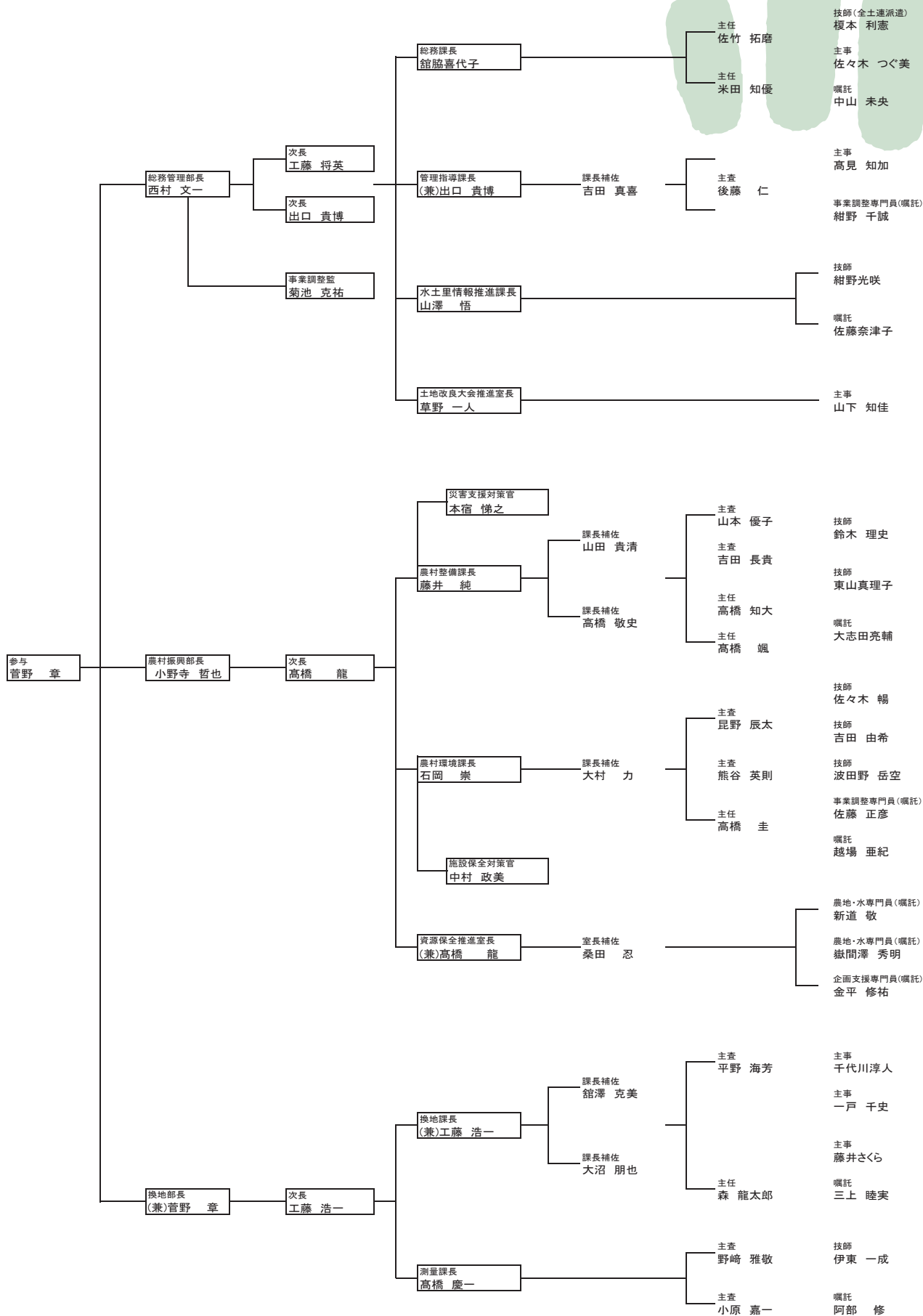
令和6年度水土里ネットいわて資格取得者

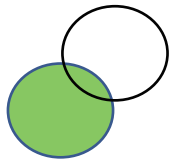
○土地改良換地士 (1名)



千代川 淳人
(ちよかわ あつと)
換地部
換地課 主事

令和7年度 水土里ネットいわて職員配置図





土地改良区だより

第11回 水土里ネット江刺猿ヶ石 (江刺猿ヶ石土地改良区)

県内位置図



【渡邊幸貫理事長と職員】

本土地改良区の受益地は、奥州市、北上市、花巻市の3市にわたる北上川左岸の平坦地と北上山地西側の麓に展開する中山間地域に広がっています。

北上川左岸の平坦な地域は、北上川からかんがいしており、承応元年（1652）に北上川に平止水門を構築し、大堰を開削して水田開発したのが始まりとされております。大正から昭和初期に設立された3つの耕地整理組合が昭和27年に土地改良区に組織変更し、合併を経て、昭和42年江刺土地改良区が

発足しました。平成元年に県営かんがい排水事業が完工し、現在の用水供給と排水対策に寄与しております。

中山間地域は、伊達藩の新田開発により北上川支流河川からの取水やため池から取水してかんがいでいたましたが、田瀬ダムから江刺への農業用水の導水計画のもと、昭和31年猿ヶ石南部土地改良区設立、昭和36年第1期国営農業水利事業が完工、昭和55年国営開拓建設（開田）事業が完工、更には、平成14年第2期国営農業水利事業の完工により、現在の用水供給に寄与しております。

平成19年12月この2つの土地改良区が新設合併し、現在に至っております。

現在、国営猿ヶ石用水土地改良事業を実施し、用水施設の遠方操作管理システムを更新し、管理の効率化を図り、県営経営体育成基盤整備事業9地区（578ha）を実施し、農業生産性の向上に取り組んでおります。また、農業用水路を守っていくため、幹線的施設の更新積立を行い、今後の事業導入に備えております。

今後も先人から引き継いだ水路や農村環境を維持していくよう土地改良区としての役割を全うし、地域の農業が持続できるよう役職員一体となって取り組んで参ります。



【北上川から取水する立花頭首工】



【田瀬ダムから取水する大野斜樋】

水土里ネット江刺猿ヶ石(江刺猿ヶ石土地改良区)

【理事長】 渡邊 幸貫

【所在地】 〒023-1104 岩手県奥州市江刺豊田町一丁目11番23号

【連絡先】 TEL : 0197-31-1055 FAX : 0197-31-1058

【受益面積】 5,254ha 【組合員】 5,037名 【理事】 12名 【監事】 3名 【職員】 16名

編集後記

今年度最初の「岩手県の土地改良」をお届けします。

春風とともに草木も芽吹き始め、麗らかな春の息吹を感じる中、本会では5名の新任・新採用職員が入会し新しいスタートを切りました。会員にあっては新人の方、異動された方などは、新しい環境に慣れてきましたでしょうか。

本会では、4月下旬から「小中学生による『美しく豊かな農村』絵画コンクール」、「『農村景観』写真コンクール」の募集を開始します。応募締切りは10月17日で例年より早くなりましたのでご注意ください。たくさんのご応募をお待ちしています。

(編集幹事)



発行所 岩手県土地改良事業団体連合会

〒020-0866 盛岡市本宮二丁目10番1号

TEL 019-631-3200

FAX 019-631-3260

<https://www.iwatochi.com>

編集発行人 千葉 匡